



滝小だより

滝頭小学校学校だより 2019th

令和元年 9月30日

10月号

横浜市立滝頭小学校

校長 鶴飼 数夫

手をつなごう 笑顔いっぱい 大好き滝小

Hand in hands, Shining Smiles, We ♥ TKG



〒235-0011 横浜市磯子区丸山 2-25-1 TEL 045-751-0344、0345

Fax 045-761-9392

URL: <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takigashira/>

滝頭小 検索

SFのレガシー

校長 鶴飼 数夫

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、特に朝晩過ごしやすい陽気になりました。滝小もいよいよ実りの秋を迎えます。子どもたちの成長を最も実感できる季節です。

さて、右側の一番上にあるマークは、よくご存じでしょう。今では、何処でも目にすることができますね。そして、何を意味しているのか誰でも分かるようになっています。このように、伝えたいことを象徴するものを簡略化しマークとして図案化したものを「ピクトグラム」=(Pictgram)と呼ぶそうです。

このピクトグラム、最近では世界中で使われていますが、日本では、1964年の東京オリンピックの際に考案され、使い始めたそうです。当時の日本は、まだまだ英語などの外国語との接点は今より薄く、オリンピック観戦に訪れた多くの外国人に、競技種目や会場案内などを見ただけで何を伝えたいか分かるようにと工夫してデザインされたそうです。その後、スポーツ関係だけでなく多くの場面で考案され、社会に定着していきました。まさに、オリンピックが後世に残した貴重な財産=遺産=「レガシー」と呼ぶにふさわしいものです。今回の2020東京オリンピックでも考案されて使われることになりました。中段のデザインを見比べてみてください。どうでしょう、55年前のものをさらに分かりやすくブラッシュアップされていますね。前回のリオデジャネイロや北京など、これまでのオリンピックでも、その開催国のお国柄をテイストに取り入れたデザインが採用されたこともあり、今回は、「和」のモチーフが期待されましたが、東京らしさは、最初に考案したシンプルさにあるということで、より洗練された今回のものになったようです。

この他にも、前回の東京オリンピックが残したレガシーには、多くの有形無形のものがあります。競技場や高速道路などのインフラのようなハードウェアだけでなく、このピクトグラムのようなソフトウェアもたくさんあります。さらには、フェアプレー精神や国際平和・協調の精神など、人々の心の持ちようや社会のあり方を変革するような大切な精神文化の醸成もあります。さて、いよいよ来年に迫った東京オリンピックで、私たち日本人は、今度はどんなレガシーを残すことができるのでしょうか。学校教育の場面でも考えていくことが大切だと思います。

10月の滝小のビッグイベントであるスポーツフェスティバル19では、オリンピックレガシーの一端を学ぶ活動として、滝小版ピクトグラムを子どもたちが考案しました。各種目や係活動、会場案内などに使われる予定です。後に配布するプログラムや当日の会場表示に使われますので、どんなデザインが飛び出すのか乞うご期待です。

本校の伝統行事であるSFでも、後世に胸を張って残せる「レガシー」を築き上げられるように頑張っていきたいと思います。



東京五輪のスポーツピクトグラム

1964		2020
	陸上	
	競泳	
	柔道	
	体操	
	バレーボール	



SF19での用具係ピクトグラム